

## 外国語科学習指導案

科目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
コミュニケーション英語Ⅱ	2年2組(普通科) 41名 (男子22名, 女子19名)	2年2組	NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION II (増進堂)	上玉利 卓磨

### 1 単元名

Chapter6 “A Delicious Japanese Culture: Bento”

### 2 単元について

本課では、日本文化の1つとも言える、弁当をテーマとして扱っている。私たちの身近に存在する弁当が、現在の状態に至るまでにどのような歴史的変遷をたどってきたのかを学ぶことができる。言語材料としては、I wish+仮定法、助動詞を含む受け身、分詞の後置修飾や、完了不定詞が使用されている。教科書を通して弁当の歴史を学んだ上で情報を整理し、時系列に説明する再話活動を行うのに適した単元と言える。

### 3 生徒の実態

本クラスは男女41名で構成された文系普通クラスである。英語コースに所属している生徒が8名おり、それぞれが英検準2級を取得しているなど、意欲は高い。一方、家庭学習の習慣がついていない生徒も多く、アンケートの結果、9割以上の生徒が家庭学習の頻度を「週に2～3回」、または「ほとんどしない」と回答している。また、ペアやグループでの学習についても、「どちらかと言えば嫌い」または「嫌い」と答える生徒が3割程度いるため、集団で学習することの利点について伝えていく必要がある。

### 4 単元全体で育成したい資質・能力

- I) then や after that 等のつなぎ言葉を使用し、時系列に沿って物事を英語で説明する力
- II) 時代ごとに変化してきた、弁当の持つ役割についての理解
- III) クラスメイトと協働し、情報や考えを伝え合おうとする姿勢
- IV) I wish+仮定法や完了不定詞を含む英文の理解

### 5 単元の指導計画

1 時間目 Chapter4 全体の導入、スキーマの形成

2 時間目 Part 1 の導入、内容理解

3 時間目 Part 1 の音読活動・retelling 活動

**4 時間目 Part 2・3・4 の導入、概要把握 ←本時**

5 時間目 Part 2・3・4 の内容理解

6 時間目 Part 2・3・4 の音読活動

7 時間目 Part 2・3・4 の retelling 活動

8 時間目 表現活動

9 時間目 Part 1～4 の文法問題演習

10 時間目 章末問題演習

## 6 単元の評価規準

i) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ii) 外国語表現の能力	iii) 外国語理解の能力	iv) 言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁当の歴史について時系列にまとめるために、教科書の英文の概要を捉えようとしている。</li> <li>・ クラスメイトと協同し、情報や考えを伝え合おうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙面中の写真やイラスト等を用いながら、本文の内容を英語で説明することができる。</li> <li>・ 助動詞を含む受け身の文や、分詞の後置修飾を含む英文を正しく書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の指示に従って正しく本文を音読できる。</li> <li>・ 弁当の歴史について時系列にまとめるために、教科書の英文の概要を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代ごとに弁当の持つ役割が変化していることを理解している。</li> <li>・ I wish+仮定法や完了不定詞を含む英文を正しく理解することができる。</li> <li>・ 物事を時系列に沿って説明するために、then や after that 等のつなぎ言葉を使用できる。</li> </ul>

## 7 本時の展開

### (1) 目標

- I) 弁当の歴史に関する英文を読み、必要な情報を時間内に探し出す。
- II) 読み取った内容を、クラスメイトに積極的に伝えようとする。
- III) 目標を達成するために、クラスメイトと協力する姿勢を身につける。

### (2) 授業設計上の工夫

- I) 生徒1人1人に役割を持たせることで、学びへの責任感を持たせる。
- II) 英語を聞いたり読んだりさせることで、情報の理解や概要の把握をさせる。
- III) グループで1つのTaskに取り組みさせることで、協働する機会をつくる。
- IV) 協働することで、目標を早く達成できることを実感させる。

### (3) 展開

過程	時間	学習活動・内容	指導上の留意点・評価
導入	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語であいさつをする。</li> <li>・ Part1 で学んだ内容を、写真を見ながら全員で復習する。</li> <li>・ ペアで復習 (retelling) させる。</li> <li>・ 本時の目標を提示する。</li> <li>・ <b>“Let’s learn the history of bento.”</b></li> <li>・ 教科書に掲載されている弁当の写真を古い順に並べ替えさせることで、予測を立てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語学習の雰囲気をつくる。</li> <li>・ お互いを認め合うよう指導する。</li> <li>・ Speaking を行う際に注意すべき点(姿勢、声量、アイコンタクト)について再確認する。</li> </ul>

<p>展 開</p>	<p>35</p>	<p><b>【ジグソー活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3人1組でグループを作らせる。</li> <li>・各グループに1枚 Task Sheet を配布する。</li> <li>・それぞれが異なる Part (Part2, 3, 4) を読むようプリントを配布する。</li> <li>・それぞれでプリントの要約文の空所に入る適語を考えさせる。</li> <li>・同じ Part を読んだ生徒同士でグループを作らせて、学んだ内容の確認をさせる。</li> <li>・学んだ内容について、英語で伝える練習をさせる。</li> <li>・最初のグループに戻り、メンバーへ学習したことを伝えさせる。</li> <li>・3人で協力して Task Sheet を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに助け合えるよう、グループの組み方に配慮する。</li> <li>・グループで完成させる Task Sheet (弁当の歴史の年表と弁当の写真を並べ替える問題) を提示する。また、後日 Task Sheet を使用して、弁当の歴史について1年生に英語で Retelling を行うことを伝える。(1年生は現在英語の授業で弁当について学習している)</li> <li>・机間巡視を行い、あまり進んでいない、あるいは理解できていないグループに対して助言をする。</li> <li>・Speaking を行う際に注意すべき点について再確認する。</li> </ul>
<p>終 末</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートを使用して、本時で学んだ内容や活動についての見直しと、次回以降の授業の流れについての確認をする。</li> </ul>	